

静岡県焼津市 漁師の仕事！船と漁業を知る授業①
漁船員の仕事を学ぶ

5月31日、一般社団法人全国漁業就業者確保育成センターが主催し、全日本海員組合が後援する「漁師の仕事！船と漁業を知る授業」が、遠洋漁業の基地として知られる静岡県焼津市で開催された。この漁業就業ガイダンスは、実際に漁船を見てから就職ガイダンスに臨むという企画で、静岡県立焼津水産高等学校をはじめ、北海道、岩手県、山形県、千葉県、東京都、愛知県、富山県、島根県、沖縄県の各水産・海洋系の高等学校から約100人、県内外の小・中学校から約40人と生徒の保護者、漁業関係者など総勢260人が参加した。

全国漁業就業者確保育成センターの取り組み

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センターは、水産庁や一般社団法人大日本水産会、全国漁業協同組合連合会の協力の下、漁業への新規就業者を発掘するため、就労に関する情報提供や全国各地域・各漁業協同組合などと連携し、新たな漁業の担い手を確保・育成することを目的として、漁業就業支援に取り組んでいる。

水産高校交流会

「漁師の仕事！船と漁業を知る授業」の前日、5月30日18時から、水産高校交流会が開催され、漁業就業ガイダンスに参加する生徒や企業が参加し、交流・懇親を深めた。一般社団法人全国漁業就業者確保支援センターの馬上敦子事務局長が司会を担当し、静岡県立焼津水産高等学校の栗山朝充教諭のあいさつで交流会がスタートした。

その後、参加した各学校・各企業から紹介を兼ねたあいさつをした後、持ち寄ったご当地土産を交換するなどして交流を深めた。

「海員だより」